

令和8年度予算見積調書(6月補正予算(第1号))

課室名 みどり自然課
 担当名 野生生物担当、ネイチャーポジティブ推進担当
 内線 3154

【復活】

単位：千円

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
P28	生物多様性保全総合対策事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費		
P31	ネイチャーポジティブ推進事業費								
事業期間	昭和38年度～ 令和7年度～	根拠法令	生物多様性基本法、生物多様性国家戦略、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律		針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	15
					分野施策	1003	生物多様性の保全	SDGsターゲット	15-1, 15-2, 15-3, 15-4, 15-5, 15-6, 15-7, 15-8, 15-9, 15-10
1 事業の概要	特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」による被害が急拡大している状況を踏まえ実施した緊急調査の結果、早急に対策が必要な県管理施設での緊急防除を実施する。 また、市町村が行う市町村管理施設等での集中的な対策を促進するため、財政支援を強化する。		5 事業説明 (1) 事業内容 ア 県管理施設クビアカツヤカミキリ緊急対策事業 513,710千円 緊急調査の結果、早急に対策が必要な県管理施設(136施設及び道路・河川)での緊急防除を実施する。 イ ネイチャーポジティブ市町村補助事業(クビアカツヤカミキリ緊急対策) 595,000千円 市町村が行う市町村管理施設等での集中的な対策を促進するため、財政支援を強化する。 【補助概要】補助率：1/2、上限額：設定なし 補助対象：被害木伐採、農薬散布・注入、住民が行う防除への補助 などの対策						
2 事業主体及び負担区分	ア(県10/10) イ(県1/2)・市1/2		(2) 事業計画 ア(ア) 県管理施設被害木伐採 357,380千円 幼虫の侵入による被害が甚大(フラス穴10個以上等)である場合は、伐採・処分による防除を行う 数量1,658本(58施設) × 単価110千円 = 182,380千円 数量500本(道路・河川) × 単価350千円 = 175,000千円 ア(イ) 県管理施設農薬散布・注入 120,330千円 アに該当しない場合は、農薬による防除を行う 数量3,311本(95施設) × 単価30千円 = 99,330千円 数量700本(道路・河川) × 単価30千円 = 21,000千円 ア(ウ) 県管理道路・河川被害判定調査 36,000千円 県管理道路・河川における被害木について、防除方策(伐採/農薬)を見極めるための調査を行う 数量1,200本 × 単価30千円 = 36,000千円 イ 市町村補助 7月～ 補正分申請受付・交付決定・執行						
3 地方財政措置の状況	特別交付税 特定外来生物の防除等の対策に要する経費		(3) 事業効果 【活動指標(アウトプット)】 県管理施設での被害対策済み樹木数 136施設及び道路・河川 6,169本 市町村管理施設での被害対策済み樹木数 約3万本 【成果指標(アウトカム)】 県管理施設での被害の拡大抑止 136施設及び道路・河川 市町村管理施設等での被害の拡大抑止 全63市町村での取組実施 クビアカツヤカミキリによる新規被害木の減少						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	(1) 人件費(既存分) 9,500千円×2.4人=22,800千円 (2) 人件費(増員分) なし (3) 組織の新設・改廃 なし								
補正要求額・審査額	繰入金					一般財源	補正後の予算額	当初予算額	現計予算額
決	1,108,710	1,108,710				0	1,318,166	209,456	209,456
要	513,710	513,710				0	723,166	うち一財	うち一財
現	209,456	117,164				92,292		92,292	92,292

【審査の考え方】

クビアカツヤカミキリの被害拡大を抑制するため、県管理施設における緊急防除・市町村における防除に対する支援を通じた集中的な広域的防除を展開する必要性を認め、要求額を措置した。